

沖縄の防災力強化を推進する 取組について

～沖縄総合事務局の防災会議～

沖縄総合事務局では防災に関する様々な取組を実施しています。その中でも、「沖縄防災連絡会」と「沖縄の持続的な発展を支える防災対応推進会議」について紹介します。

沖縄防災連絡会

「沖縄防災連絡会」は沖縄地域における大規模災害への対応力の向上や、関係機関の連携の推進を目的としており、官民合わせて35機関で構成されている会議体です。

会議では、道路・港湾・空港・電力・石油・ガス・水道などのインフラ関係及び物流、観光客避難等に関する11の分野において検討・議論を行っています。

沖縄防災連絡会は平成24年度に設立され、令和7年2月14日の会議で13回目の開催となりました。今回、従来の地震・津波に加え暴風・豪雨等も検討の対象とできるよう運営要領を改訂し、暴風特別警報が発表される場合の臨時会の開催や沖縄気象台との合同記者会見による県民への警戒の呼びかけなどの取組を実施していくことを決めました。また、沖縄気象台からは運用開始以来初めて発表された南海トラフ臨時情報を受け、南海トラフ地震の概要及び臨時情報発表までの流れなどについて報告が行われました。



第13回沖縄防災連絡会

沖縄の持続的な発展を支える 防災対応推進会議

「沖縄の持続的な発展を支える防災対応推進会議」（以下、防災対応推進会議）は各分野の有識者である13名の委員で構成され、沖縄防災連絡会での検討内容や取組について様々な角度から助言等をいただいています。

令和7年3月7日に開催された防災対応推進会議では、沖縄防災連絡会等からの報告を受け、被災した離島への物資輸送や応急給水に関する助言など、活発な議論が行われました。



会議を進行する安里議長



担当者から報告を受け意見を述べる委員

今後の防災関係会議での 取組について

防災対応推進会議で指摘・助言があった事項については、今後取り組むべき課題として沖縄防災連絡会の中で検討を進めるとともに、沖縄地域の防災対応力の向上・強化のために関係機関と連携を図りながら、引き続き各種対策・検討を行っていきます。

お問合せ先

総務部 防災・危機管理課

☎098-866-0115